

経営比較分析表（令和6年度決算）

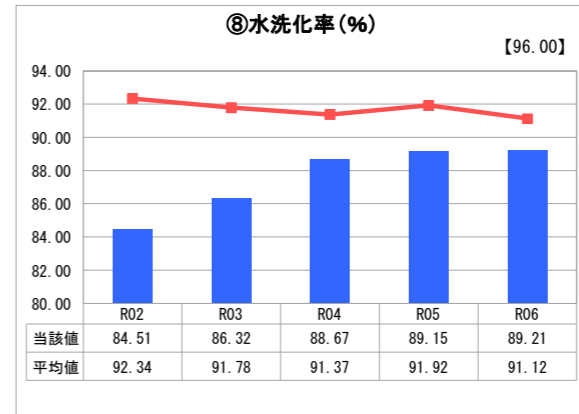
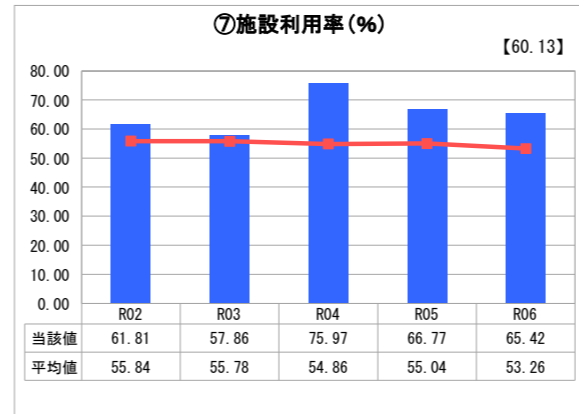
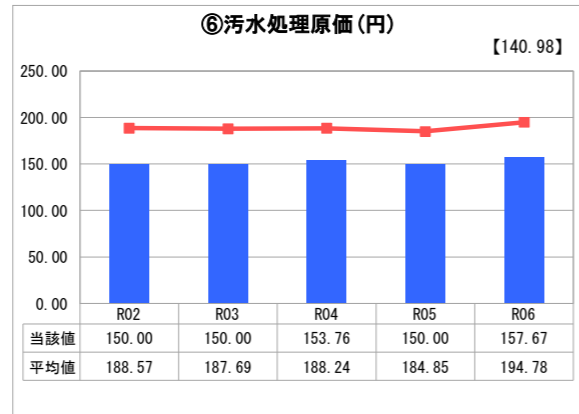
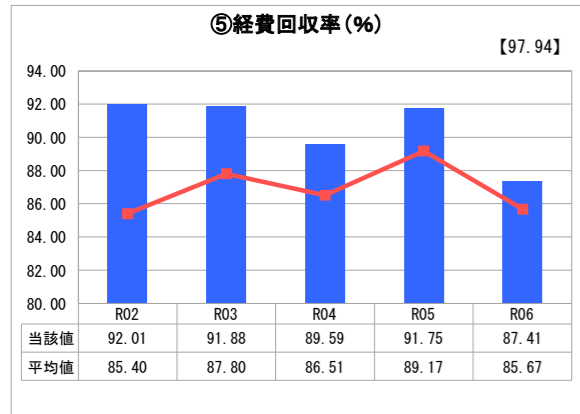
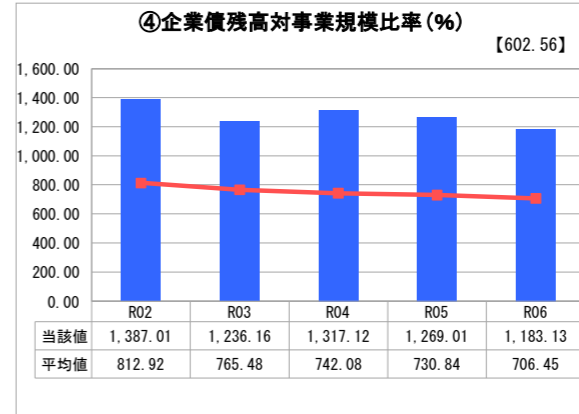
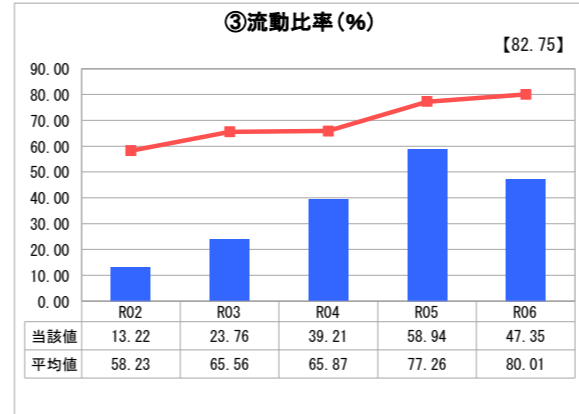
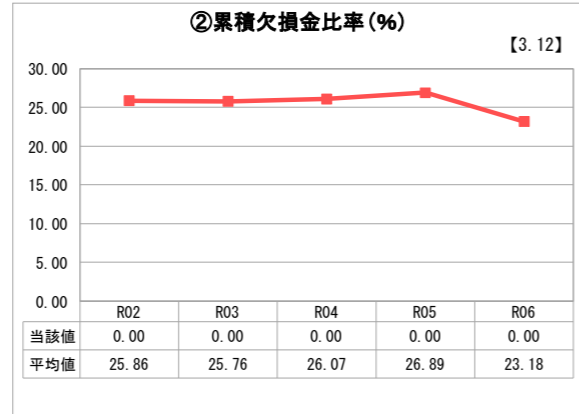
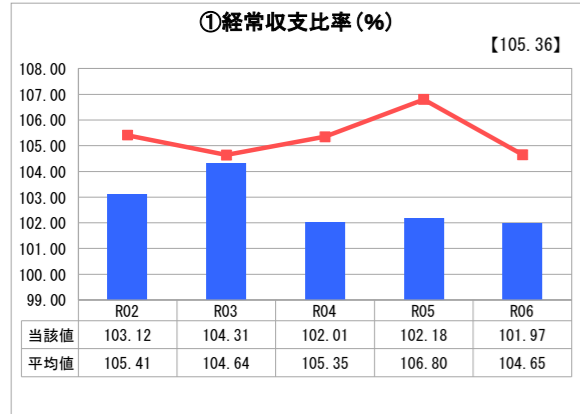
福島県 相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.46	53.08	72.50	2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,261	197.79	163.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
16,973	7.92	2,143.06

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

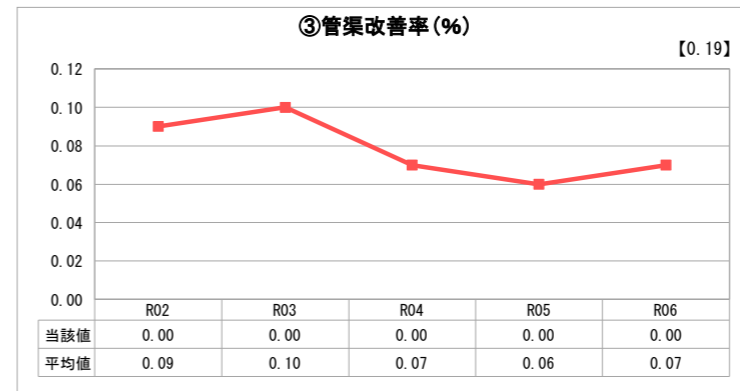
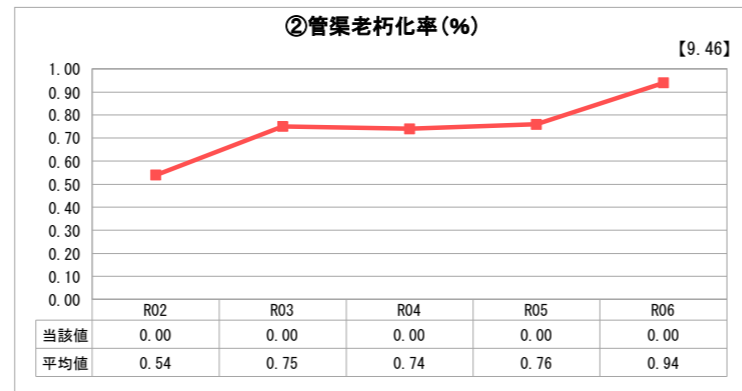
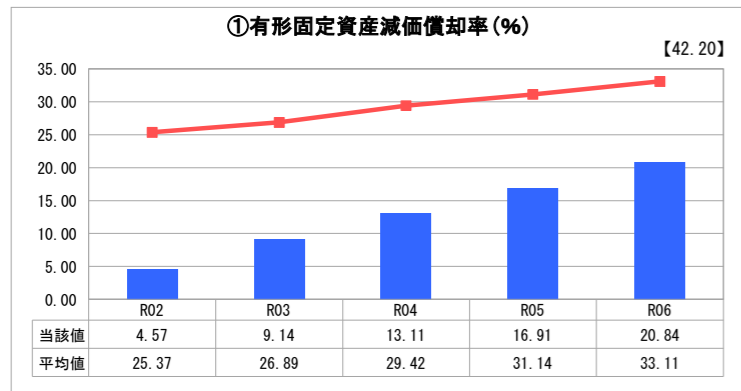
1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%を超えているが、多額の繰入金に依存している状況が続いている。
- ②流動比率
建設費に充てた企業債の償還が進み、比率の改善は続いているが、類似団体平均を大きく下回っている。
- ③企業債残高対事業規模比率
企業債残高は減少しているものの、依然として類似団体平均を大きく上回っている。今後、施設等の改築更新が本格化し企業債借入れの増加が見込まれるため、使用料改定など経営改善を図る必要がある。
- ④経費回収率
汚水処理経費の増加に対し使用料収入は毎年減少しており、経費回収率は低下している。使用料収入確保のため令和8年4月から使用料の値上げを実施する。
- ⑤汚水処理原価
類似団体平均よりも低い値で推移しているが、引き続き、維持管理費の削減等に努め、効率的な汚水処理を継続していく必要がある。
- ⑥施設利用率
類似団体平均を上回っているが、施設の老朽化や処理水量の動向、有収率の推移等を踏まえながら、今後も適切な施設維持に努める必要がある。
- ⑦水洗化率
若干ではあるが、年々増加はしているものの類似団体平均を下回っているため、今後も水洗化率向上への取り組みを行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
類似団体平均を下回っているが、供用開始から30年以上経過している管渠施設もあるため、今後もストックマネジメント計画に基づく調査結果をもとに合理的な修繕・改築計画を進めていく予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

施設の老朽化に対する更新費用等の増加や、人口減少による使用料収入の減少等に伴い、令和8年4月から使用料金の改定を実施する。また今後も、維持管理費の適正化のため、コスト意識を持ちながら経営改善への取り組みを行う予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。